スポーツネットワークかくだ

【コミッション概要】

構成組織：市スポーツ協会、市スポ少本部、スポコムかくだ（総合型）、スポーツ施設指定管理者、市スポーツ推進委員協議会、㈱まちづくり角田、仙台大学、市・市教育委員会等
設立年次：２０１９年９月
ＳＣ特徴：アウター施策・インナー施策の両方を行うスポーツコミッション
（笹川スポーツ財団が政策提言する「地域スポーツ運営組織」の実践研究として設立・活動）

【主な取組例】

１アウター施策（スポーツで道の駅かくだの活性化）

道の駅かくだに隣接する総合スポーツ施設（Kスポ）を活用し地域経済の活性化を目指す
（１）イベントによる賑わいの拠点化
道の駅の食とKスポのスポーツのコラボによるイベント開催
全日本女子車いすバスケ強化合宿、JFL公式戦等を誘致
（２）スポーツによる子どもの育成と健康づくりの拠点化
天然芝生を活用した幼児遊び場の新設、ウオーキングステーションの開設・活用で、子どもの育成と健康づくりの拠点化を図る。

元気をつなごう!!
スポネット
かくだ
SPONET KAKUDA

２インナー施策（いかにスポーツを楽しむ市民を増やせるか）

地域スポーツが抱える課題を分析し、優先順位をつけ課題解決を図っていく。
（１）第１優先事項
市内すべての乳幼児に「楽しみながら体を動かす『運動あそび』を、効率よく提供することで元気な子どもを育てる「かくだ版アクティブ・チャイルド・プログラム」を展開
（乳幼児健診、保育現場、子育て支援センター、仙台大学と連携）
（２）第２優先事項
変革期を向かえている中学校部活動について、学校関係者、保護者、地域スポーツ関係者が一堂に会する懇談会を開催し課題を整理し、子どものための部活動のあり方を検討。令和４年度から段階的な実施を目指す。